

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和3年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア成長研究所
-----	-----------------

所管課	企画調整局 国際政策課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>地元貢献を重視した日本を代表するアジア研究機関を実現するため、地域への知的貢献と国際水準の知的基盤の強化を目的とする活動を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、今後、アジア諸国の先進事例研究などの活動を推進し、研究成果を積極的に公表し、広報活動を強化する。</p> <p>また、客観的な成果指標を策定し、26年度から3年間、その成果を評価し、その結果によっては、大学等との統合又は廃止を検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	<p>(1) 地域貢献：市や実業界から政策や戦略決定上、有益なシンクタンクとして認知される。</p> <p>(2) 学術：RePEc (Research Papers in Economics) 格付けの日本国内研究機関の九州内上位3位内を維持する。</p>
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29	H30	R1	R2	R3		R4	R5
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
市政・企業活動に貢献する調査研究件数	1件	3件	3件	3件	3件	5件		
成長戦略フォーラム参加者の満足度「良かった」の割合	93%	91%	93%	97%	90%	92%		
著名な学術雑誌への論文掲載数	8本	9本	4本	5本	5本	5本		
第三者による研究内容の評価（RePEc九州内上位3位以内）	-	-	-	-	RePEc九州上位3位内	2位		

※RePEc=Research Papers in Economics (米国) 世界81カ国の40,000人を超える研究者が登録する経済研究論文データベースサイト (2014年11月現在の登録数=42,367人の研究者及び6,724の所属研究機関)。論文引用数を含む31項目の異なる基準により、登録者の研究内容を客観評価し、毎月ランキング (地域別、国別等) を発表している。

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）

<p>団体における評価</p> <p>市からの受託研究の実施や、企業・市民向けセミナーは好評を博す等、地元貢献を推進している。また学術研究活動においては、積極的な学会活動、研究成果の著名雑誌への掲載、国際的評価指数で九州上位2位となる等、国内外での評価を受けている。</p>	<p>市の評価</p> <p>市からのミッションのうち、地域貢献について、市政・企業活動に貢献する調査研究件数が目標を上回ったほか、市民向け講座も3回開催するなど積極的に取り組んでいる。市からの受託研究についても北九州空港のアクセス鉄道やSDGs等市の課題に直結したものを実施している。また、学術面についても国際的評価において九州2位と目標を達成した。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容 (案)</p> <p>引き続き「国際水準の知的基盤の強化」を維持しつつ、市の活性化に繋がる調査研究を促進する等により、市のシンクタンクとしての機能を強化し、「地域への知的貢献」に繋がる活動を推進していく。</p>	<p>団体への改善指導内容 (案)</p> <p>引き続き、地域貢献に資する研究の深化、拡大を図るとともに、社会情勢の変化が大きい現状をふまえた調査研究を行うよう求める。</p> <p>また、研究活動については引き続き、外部資金獲得のために不断の努力を行うとともに「国際水準の知的基盤の強化」の推進を求める。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
<p>平成26年度から3年間の総合評価の結果、概ね高水準で目標を達成していたため現状の体制を維持することとなった。</p> <p>令和3年度から開始した中期計画 (R3～R7年度) のとおり、より一層地域への知的貢献活動を強化する。</p>	